

# 情報資格試験



## Profile

今まで、さまざまな資格を取得し、その勉強の状況や受験体験などを語っていた。また、かたわらで殺陣パフォーマンスを行っていたが、自身が障がい者になること等を機に活動を引退した。

しかし、第19回全国障害者芸術・文化祭、上越アール・ブリュット公募展”ものと語り”への入選をきっかけに、障がい者芸術、アールブリュット、アウトサイダーアートへと活動の場を見出していった。名前は、資格試験をたくさん取得していったときに使っていた「情報資格試験」と名乗る。

第19回全国障害者芸術・文化祭、上越アール・ブリュット公募展”ものと語り”では異色のパフォーマンスを披露し、殺陣がどのようにアート作品になるのかを示し、多くの人に斬新的な芸術を提供した。現在は3次元データへの展開など、今でも多方面に進展している。

アール・ブリュットと触れ、絵を描くことにも表現の場を見出している。独学のクロッキー描写や筆ペンを使った絵画、人名のシャチハタを複数使った見たことのないアート、ボトル入りのガムについてくる紙を使った表現など、思いのままにアート作品を模索している。